一九五七年

日本のうたごえ

堂々たる基地の歌

出席者を圏んでの回顧と抱負

一九五七年の棹尾を飾る日本のうたごえ祭典は〝うたごえは平和の力〟〟東京宣言を支持し平和のうたごえを高めよう〟を合言葉に四万人が参加、昨年十二月十三日から四日間東京でひらかれた。祭典は十三日夜の地方色豊かな「農村のうたごえ」で幕をあけ、来日中のモスクワ・ボリショイ劇場専属歌手アラ・ソレンコワさんも特別出演した。三池からは大会に六名が出席したが、帰山後の二十四日夕刻五時より本部で六名を囲みうたごえ運動の回顧と新年度の抱負について語つてもらつた、

驚く程充実した

司会　日本のうたごえに行かれたんですが、九州のうたごえに較べてスケールの面でどう感じましたか。

A　全体的にはそう違いはなかつた。

B　中央で集つたという意味ではあの程度は当り前と思うな。

司会　国鉄が一番多いですか。

C　そうです。ステージにも一杯だし、バックの後半は全部国鉄の組合員でしたね。

司会　炭鉱はどの位。

D　炭労だけならそう多くなく九州、北海道あわせて百名位。炭労、金鉱、常盤で二百六十名位でしたね。

E　九州のうたごえでは、お互いに学ぼうという気持は余り見えなかつたし、場内もザワついていた。日本のうたごえになるとさすがそれがなく、全国の経験を学ぼうという気持が見られ、ドッシリ腰を落着けている感じがした。

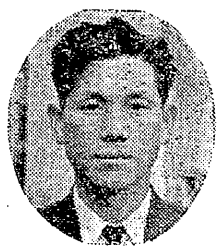
出席者

横溝英輔（三川）
石橋寛行（西山）
荒木栄（製作）
小山国男（本部）
山下稔（本所）
成瀬富喜夫（港務）
原守男（宮浦）
司会＝平島編集部長

F　各地方でやつてきているところの集結、集約されたことはハツキリ感じる。

司会　出し物といいますか、内容は違つてきていましたか。例えば相変らず同じうたをやつているのか、創作曲なり民謡が多くなつているのか。

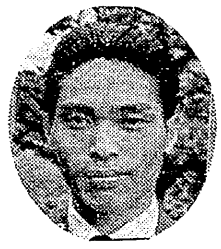
G　去年より内容はぐつと充実したという感がした。技術的にも向上している。うたう態度も去年は舞台に登つてとにかくうたうという浅い感じだつたが、今年はそれだけでない深みが出てきている感じをとくにもつた。



国鉄はスゴイ

B　九州のうたごえと較べていえることは質量ともに向上している。技術がすばらしく上つているし内容もよくなつている。それにますます平和という問題に真剣に取組んでおり、組織として進んでいる。また一般に創作曲が多くなつたし、創作自体も質量ともに延び幅さから立上つて行く力量感のあるものを感じましたね。

C　国鉄は全部創作曲でした。



司会　一番印象に残つているのはどういうのでしたか。それから原水協などからも出たんですか

D　今年は出なかつた。基地のうたが出たし基地と原水協は一緒に出たんですね。

司会　ボリュームはどうでしたか

A　何といつても国鉄。量がね…一番最後の砂川では全員五百名、あんなに乗り技術的なうたを堂々とうたつたのは印象に強く残つた。音楽的にも取組んでいてとても重量感があつた。

G　オーケストラに負けていたな

C　オーケストラについては疑問がある。

熱のさめない内に

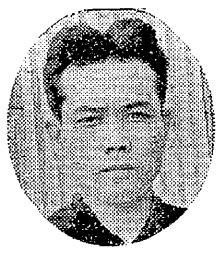
司会　日本のうたごえは、うたごえとして日本の最高でありますが、これに出場されてこんどどうこれを三池に普及して行くかという問題ですがね。

C　これが私たちの一番大きな問題ですね。北海道などはガツチリやつていて、三池が出場してくれないなら何にもならないといつていた。こんどはじつくり腰を落着けて三池から動いて行かなければならない。

司会　東京へ行くとなると人数や経済的に困難がある。日本のうたごえのような雰囲気をこんどこちらで作つて行けば育つわけではないですかね。

E　私たちは大きな抱負を持つて帰つてきたが、あの会場で受けた感銘、熱の冷めないうちに活動を始めなければ私たちの敗北です。教宣部にも駆使してもらつてジャンジャンやりたい。

F　北海道はきわめて組織的ですよ。



ところが九州はバラバラだ。連絡協議会がやつとできた位だし

これにまず取組みたい。

司会　北海道は条件もいいんですよ。一つの町が炭鉱で冬の間は遊びに行かれない。その間にうたごえが盛んになる……。

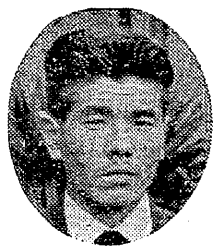
見上げた三池のレベル

司会　荒木さんは創作曲入選一位ですね。

A　コンクール形式による合唱発表会ですね。創作曲をうたつて入選一位ですよ。

C　全員よかつたですよ（笑声）

B　これは自労の詩人グループが作詩し、これを依頼されて定期大会に発表したものです。これを持つていつたが、皆は殆んど練習していないのにとてもまくうたつてくれた。びつくりしたな。



D　拍手が凄かつたですね。

G　痛切に感じたことは去年のいきさつが分らず代表者会議（炭労）で困つたな。

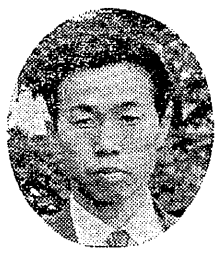
F　北海道では二、三年つづけてくる人がいる。今年行つたメンバーから半数は来年も行つて貰いたいと念願している。昨年の経過もあるし、大勢をみてくる目が肥えてくるですよ。

司会　一年間の変化を知る必要はあるですね。

A　まず当面、協議会を本腰を入れてつくることだな。

司会　三池でいまうたごえサークルに出てくる人数は…。

G　六支部で約百二、三十名でしよう。



E　執行部とサークルの間がすつきりしないと運動の障害になる

A　サークルも主体性をもつことだな。

まず活動が第一

司会　こうして貰つたら活動がしやすいという点で何か執行部に望むことか、要望があつたら。

C　指導者講習会を月に二、三回開いてもらうと随分違うと思うんですが。

B　私達が動き出して始めてそういうことが出てくると思う。ほんというと動いていないんですよ。とにかく三鉱でまとまらんことでは何にもやれぬ。まず活動してその中から生まれてくることでしような。

F　具体的にいつて今の連絡協議会が組織活動をやるべきだよ。これがないと内部的な要求も起らない。何を望むかというよりサークルはどういうことを望んでやつているかをどう執行部が理解しているかですね。問題はやるべきことが多くあるし、だからこれがキツカケになるですね。

G　炭労のうたごえに参加して発見したことは、三池の連中は技術的に凄く高い。技術の面からいえばたつた六人うたつたが、ボリュームも凄くあつた。注目の的になつていた。ところが組織の面では北海道にひどく遅れている。組織活動は是非やりたい。

A　山野、田川が全然きていないことは九州関係でも淋しかつたとにかく九州と北海道と較べると歯がゆい位だつた。

B

C　三山の交流位いできるようになればしめたもんですがね。そして中央で六山をね。

司会　いろいろお疲れのところありがとうございました。ではこれで閉会いたしますが、今年度はただいまのファイトをもつてうたごえ活動に一段と精進されますようお願いしておきます。

A　では最後に紙上をかりて組合員の皆さんに伝えてもらいたいことは、こんど三鉱労組の代表としまして、私たち六名がうたごえに出席させてもらいましたが、非常な感激をもつて帰つて参りました。職場で、地域でこれからはサークルの前衛として努力して行きたいと思つています。どうも有難うございました。

厚生白書」と労働者

坂逸郎

（一）

厚生省は去る十四日、三十二年度の「厚生白書」を発表した。この稿を書いているいまは、私はまだこの「白書」を手にしていない各新聞紙におけるその要約の発表を読んだだけである。それでもわが国に貧乏の問題がどんなに大きな地位を占めているかはうかがえる。

わが国民の生活水準は「国民所得」の上では米国の九分の一、英国の四分の一、西独の三分の一である。国民所得というか、この国民という中には、お金持もおり、労働者もいる。階級の差異をごつちやにして「国民所得」を出して見ても、労働者の生活水準がどうであるかは少しも分らない。アメリカ人のヒューマーマンが来たとき、日本のお金持の生活と労働者の生活水準の相違におどろいて、こんなことがアメリカだつたら革命がおこるだろうといつたと伝えられている。

この言葉の正否は別にしても、この「白書」が示すわが国の「国民所得」の低さは、労働者階級の生活水準の低さをまだまだごまかしていることになつている。われわれに必要な数字は、お金持と労働者を平均した「国民所得」ではない。働く階級の所得なのであるそれは、この「白書」では不明であるが、これよりはるかに低くなることは明白である。

（二）

このことは、同じ「白書」が「わが国では戦前は貧富の差が激しく、後進国なみであつたが、戦後は大幅な平等化に進んだ。しかし昭和二十七年ごろから逆転し、貧富の差がひらきはじめた。これは賃貸料所得、利子所得、配当所得など高位の階層に集中する所得が次第に増加していること、勤労階級等の不均衡度が拡大したことなどによるものであり、今後さらに激しくなる傾向に」（朝日新聞）あることをのべていることからも明らかである。

さらに「白書」によると、わが国でも生活保護をうける程度の低所得世帯は、二百四十六万世帯、一千百十三万人とあり、総人口の十二―十五％を占めている。アメリカでも最低生活費以下の人には総人口の十二―十五％であるが、アメリカのこの貧困水準は国民所得の六〇％であるのに、日本では三〇％である。その上に国民所得そのものが、日本はアメリカの九分の一であるのだから、日本のこの貧困水準はアメリカの十八分の一という低さである。このように農者の数はなお約三百万人と推定されていて、減少しているとはいえない。と「白書」はのべている

このような働く階級の貧困化に対してとられる社会保障は、極めて不十分である。「その費用の国民所得に対する比率は約五％（英九％、西ドイツ一三％）にすぎない。また貧富の差を縮める効率からみても不十分である」

生活保障のための年金制度があるのは、文官、軍人の恩給や労働者の厚生年金など国民のごく一部にすぎない。全国民に対して年金制度を適用する必要がある。しかし、「白書」は「国民年金制度の実現は生産者集団（生産年令にあるもの）が保険の形か、税の形かでこれを負担することを決断するかどうかにかかつている」（同上）とのべているが、これは、却つて現在の労働者階級（生産者集団中の圧倒的多数）の貧困化として作用する。このような国民年金制度の実現の前提は、労働者階級の賃金水準の引上げを前提としなければ意味をなさない。

支配階級の低賃金政策の犠牲者である老令者、母子、廃疾者などの負担を再び労働者階級に背負わせるのは、低賃金をさらに低くすることである。「白書」が指摘している高位層の所得が貧富の差を激しくしている所に着眼して、国民年金制度を「もてるもの」の負担加重による計算をしたならよかろう。

労働者階級は、この「白書」から、賃金水準の引上げ、社会保障生活保障の実施のために、ますます闘わなければならぬことを学ぶのである。

正賀　お買物は　革商連の店で

三鉱労組指定店
メガネ専門　生眼堂　マツヤデパート前　電話四八八五

洋品雑貨の　だるまや　上宮町二丁目　TEL四三七四

時計の御用は何でも揃う　アフター・サービス奉仕の店　大村時計店　新銀座西入口　電話三八六〇

家具百貨の　西坂家具店　上宮町二丁目　電話二八九四番

靴・カバンのイノウエ　ちくまち　TEL三〇五九

スポーツ用品専門の　フタバヤ　大牟田市三里町　TEL6254

大牟田市三川町五丁目　有限会社　菊池雑貨店　電話六一五九番

紳士婦人服専門の　遠藤洋服店　旭町商店街　銀座通り四ツ角　電四五四九　電五五七七

テレビ・ラジオ　平和堂無線　上宮町二丁目　TEL四四四六

各種服地　京呉服雑貨　婦人服　東新町一丁目　マルイチ商会　電話二〇七六番

自転車の御相談なら　山本輪業へ　上宮通り　TEL四三三七

洋服の　原田屋　新銀座　TEL二四七七

松屋横　旭時計店　本町一丁目　TEL五三一五

皆様のチケツの店　衣料の　たからや　上宮町二丁目　電話五六二五

毛糸・セーター　ともや毛糸店　新栄町商店街